

研究分野		授業科目名				科目責任者	
生理系分野		周術期管理・集中治療医学特論Ⅰ・Ⅲ				戸田 雄一郎	
開講年次		共通／専攻／選択		単位数			
1,2,3,4		特論Ⅰ：必須専攻, 特論Ⅲ：選択		特論Ⅰ：4(2/年), 特論Ⅲ：1/年			
目的							
(1) 集中治療医学における管理を習得するため、手術・感染などの侵襲による生体反応のメカニズムを理解する。 (2) 生体反応による臓器障害の発生を理解して、制御方法を検討できる能力を習得する。							
授業到達目標							
(1) 症例をもとに経過を正確に説明できる。 (2) 論文をもとに症例の問題点を指摘できる。 (3) 臓器障害制御法の提案ができる。							
授業計画							
回数	月日	曜日	時間	担当者	区分1	区分2	授業内容
1	毎週	月	7:30-8:30	戸田 雄一郎	講義	[症例検討会]	症例から問題点を抽出し、麻酔科学、集中治療医学に関する文献・書籍を引用して討論する。 [場所:西館棟5階第4カンファレンス室]
評価方法							
【特論Ⅰ】 (1) 1年間※で、講義は30時間出席し、科目責任者から履修手帳に出席印をもらい、提出する。 (2) 1年間※で、論文紹介または症例発表を2回行い、その要約2編を提出する。 【特論Ⅲ】 (1) 1年間※で、講義は15時間出席し、科目責任者から履修手帳に出席印をもらい、提出する。 (2) 1年間※で、論文紹介または症例発表を2回行い、その要約2編を提出する。 ただし、特論Ⅰ・Ⅱで紹介したものと異なる論文(症例)であること。 特論ⅠとⅢの同年度での重複受講は不可とする。 ※1～3年生は2月末まで、4年生は11月末までの講義を当該年度の単位認定の対象とする。42・43頁：単位履修方法参照。							
課題(レポート等)に対するフィードバック							
紹介論文の要約について、添削して返却する。							
教科書							
ISBN-9784895928311, ICUブック(第4版), Paul L. Marino (編集)・稲田 英一(監訳), メディカル・サイエンス・インターナショナル, 2015							
参考書							
ISSN-0090-3493 (Online ISSN-1530-0293), Critical Care Medicine, Wolters Kluwer Health/Lippincott Williams and Wilkins							
準備学習(予習・復習等)							
(1) 講義ごとに紹介する文献および論文を、次回講義までに読んでおく。 (2) 事前に教科書や参考書で約1時間程度、該当箇所を予習しておく。 (3) 紹介された論文の要約を作成する。							
修了認定・学位授与の方針と当該授業科目の関連							
(1) 課題を探究し、仮説立脚、検証に至るまでの科学的・方法的・思考法を知悉する。 (2) 卓越した研究成果をあげ、専門分野の深い学識を獲得する。							
注意事項・メッセージ							
代表的な基礎的および臨床的英文論文を読む習慣を身につけてください。							